



令和5年度 第12号
令和5年7月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

1学期の出来事より② 7月学校朝会の様子「応える」ことの重要性

夏休み配信第2弾です。7月の学校朝会についてお伝えします。7月の学校朝会は「応える」というお話をしました。日常の子どもたちの様子を見ていて、時々「うーん。これじゃあ、いかなあ」と思うことがあります。それは、他者とのコミュニケーションの在り方です。現代社会では、コミュニケーション能力が重要視されています。教育も同じです。学習指導要領や中央教育審議会などの答申でも大切な資質・能力として取り上げられています。しかし、往々にして、その時の気分で、お友だちや先生とうまくコミュニケーションが取れていないのではないかと思う場面に出くわします。代表的な例が、他者からの呼びかけに対して無反応の場合です。

しかし、校長として、できていないことばかりを指摘するだけではいけません。その課題にこそ学ぶことがたくさんあるわけです。子どもたちは多くの人と関わりながら、自分に足りないものを身につけていくことが成長なのだと考えています。ですので、7月の学校朝会ではこの話をしたので

講話の中では、自分自身の体験をもとに「応える」ということの大事さを語りました。丁度1年前の私自身の運転免許更新の際の出来事です。自分が明るいコミュニケーションを取ろうとしたことで、まわりがどう変わったかをお話ししました。「リアクション」という言葉は、テレビの業界用語のようで、まじめにとらえられないような気もするのですが、大事なことは、相手の立場に立って受け応えをすることなので、あえて「リアクション」の大切さを語ってみました。コミュニケーションで大事なことは、自分の気持ちを伝えることなので、校長先生の気持ちが伝わればと思ってお話しした7月の学校朝会でした。詳しくは校長先生の虫眼鏡に全文を載せています。お読みください。(校長) ※裏面に続きます



校長先生の虫眼鏡 7月学校朝会の全文

学校朝会の全文をご紹介します。

おはようございます。みなさんにお聞きしますね。今日、朝学校に来て、あいさつをした人？さすが、手がピッと拳がりましたね。5人以上にした人？10人以上にした人？すばらしい！！やっぱり本荘の子どもはあいさつが上手なのですね。

でもね、友だちに「おはよう」と言ったときに、大きな声と笑顔で「おはよう」と返してくれたら、うれしいのだけど、小さな声で表情もなく、「おはよう」と言われたらどうですか？せっかくの明るいあいさつもさびしいものになってしまうかもしれませんね。話しかけられた時に、明るく「応えて」くれる人って素敵だと思いませんか？そんな人はみんなに好かれやすいし、すぐに、なかよしになれるでしょうね。

人と仲良くなるためには、「応える」こと（よくテレビとかでは「リアクション」なんて言い方をしているようですが）が大事なのです。ですので、この「リアクション」を思いっきりしてみると、仲良しになれるのではないかと、校長先生は思うのです。

例えば、授業中、先生が何かを尋ねた時に何の反応もなかったなら、さびしいですよ。でも、校長先生が元氣ですか？と聞いたときに「元氣ー！！」と応えてくれたら、それはうれしくなります。こんなふうに相手に反応することを気にかけてみると、友だちができやすくなったり、クラスが協力しやすくなったりするものです。

ちょうど1年前、校長先生は免許センターというところに、免許証の手続きに行きました。日曜日に行ったので、人がいっぱいいたのです。窓口のまわりにはたくさんの方が待っているのです。そこで、係の人が「山田さん、山田太郎さん」と呼ぶと、山田さんが窓口に行って手続きをするのです。

でもね、名前を呼ばれた人のほとんどが、お返事をしないのですよ。どう思いますか？しかも、係の人からの説明を受けていても、だまって聞いていて全く反応しないのです。ですから、係の人たちも、元氣のない小さな声で「そこに行ってください」と面倒そうに言っていたのです。

そこで、校長先生は、あることを考えました。何でしょう？それは・・・、「自分だけでも大きなよい返事をしよう」と思ったのです。そこに「西川さん、西川英臣さん」と呼ばれたので、「はい！」と明るい返事をして、窓口まで行ったのです。みんなびっくりしていたかもしれないけど、でも、窓口の人は、「なんでこの人大きな声で返事したのだろう？」といった顔で無表情でいたのです。

だから、校長先生は余計にその人のお話を「はい！」「わかりました！！」「なるほど！！」という言葉を発表しながら、聞いていたのです。どうなったと思いますか？

最初はね、不機嫌そうだった人が、だんだん明るい声になってきたのです。自分のお話をうれしそうに聞いてくれるということが伝わったのか。その人も明るくはきはきとした声で、実にわかりやすい説明をしてくださいました。それだけではなく、さっきまでは座ったままで、「そっちに行ってください」と言っていたのが、立ち上がって指をさしながら、「その赤い線まで並んでくださいね」と親切に教えてくれたのです。

こんなふうに、ちょっとした反応の工夫で、相手の人の気持ちも変わってくるのです。

今日もそうですが、校長先生はどんな集会でも、どんな式でも、自分の名前を呼ばれたら大きな声で返事をします。これまでもしてきましたし、これからもそうしていきたいと思っています。そうすることで、相手を大切にしたり、友だちになることができたり、お互いによい気分でご一緒することができるのですよ。

みなさん、授業中の反応の「あいうえお」していますか。誰かが発言したり、発表したりした時に、「ああ！」とか「いー」とか「うーん」とか「ええーっ」とか「おー！！」とか言っていますか？まずはそこからやってみてください。一言でよいので明るいリアクションを心がけてみましょう。

そうやって、みんな7月も思いやりの心で笑顔の本荘小にしましょう。